

秩父路は晴れて—関東支部秋の見学会記—

新宿の高層ビルの谷間に朝の活気があふれ始める。野村ビル前に吉田関東支部長以下 21 名が参集して、関東支部秋の見学会は秩父路へ出発した。10 月 16 日（火）9 時。空は高く見学日和であった。

まず吉見百穴を訪れ一息いれる。珍しい“ひかりごけ”，昔はもっと沢山あったそうですが，今は見おとしてしまいそう。古代人の声を後に東芝深谷工場へ向かう。昼に大きな東芝のカラーテレビ・カラーブラウン管専門工場に着く。昼食の後，カラーテレビ組立工場を見学する。残念ながら希望の強かったブラウン管工場は見学できなかった。自動化の進んだラインに一同感心したり，うらやましがったり。日産 13 万台だ

そうである。そして秩父セメントの秩父第二工場に着いたのは 3 時を過ぎていた。セメント工業のエネルギー問題に関する説明があり，SF 式にすることによりセメントを 1 トン造るのに重油 83ℓ まで低減できたとのこと。SF タワーの上から見た工場は休止している 2 基の長い湿式キルンと黒々と山をなす自動車タイヤ，セメント工場をエネルギー問題という嵐が吹きぬけている実感と感動をおぼえる景色でした。

夜は国民宿舎武甲荘に宿泊。例によって親睦会，秩父セメントからの差し入れもあってアルコールはあまりぎみ。親睦会の後も小さな話しの輪があちこちに夜遅くまでできて本当の親睦がくりひろげられた。有意義な一日が終る。

17 日は 9 時に武甲荘を出発。途中秩父神社に参拝して秩父セメント鉾山部三輪鉾山に向かう。秩父の街を見渡す雄大な石灰石採掘現場をまのあたりに見て圧倒される。中研の浅原氏には本日もお世話になる。秩父 26 番札所と 4 番札所金昌寺の千数百体の小石仏群を見て，正丸峠に向かう。ガーデンハウスで名物ジンギスカン鍋の昼食。2 時に峠を出発して一路新宿へ。4 時半に予定より早く到着，そして解散。台風の影響がではじめていた。

（平島 碩）



東芝深谷工場参観記念撮影